

若狭湾水中散歩

3

京大水産 実験所 益田 玲爾

アカアマダイ

アカアマダイは若狭湾
はグジとも称され、京料理

には欠かせない素材
だ。舞鶴周辺では冠島沖
の水深九〇cmあたりが好
漁場らしい。「アマダイは
穴を掘って住んどるさか
いに、そこから『ほっこ
釣り』で引き揚げるんや」
と漁師さんは教えてくれ
る。しかし、実際にアマ
ダイが穴を掘っている様
子を見た人がいるわ
けではなく、そもそも水
深九〇cmとは、潜つて見
てくるにはちとしんど

い。

日本栽培漁業協会(日

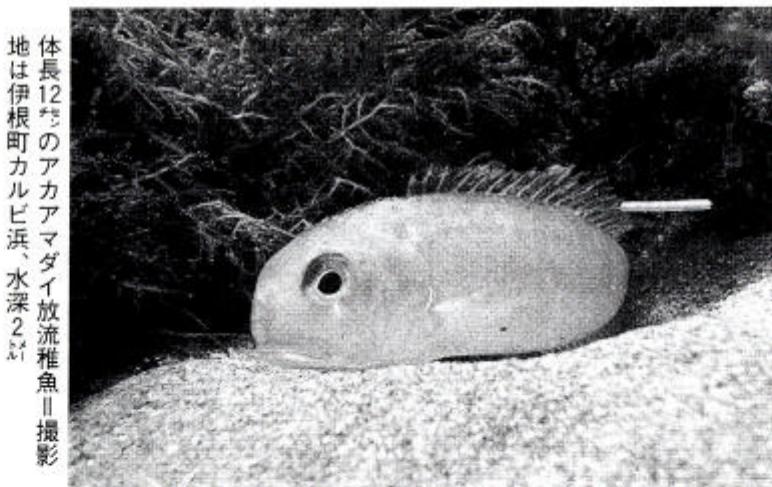
裁協)の宮津事業場では、
アカアマダイの人工孵化

稚魚の生産に成功した。
そこで、栽培漁業に必要
な行動や生態の基礎知見
を得るために、本種の行動
特性に関する研究を、日
栽協と筆者との共同で進
めていく。昨年行った室
内実験では、アマダイは
体長七cm以上になるとト
ンネル型の巣穴を掘るこ
とが確認された。

験で掘ったのと同じよう
に、見事なトンネル型の
巣穴を掘った。
ご覧の写真は、昨年の
六月に伊根町で放流した
直後のもの。大きな瞳と
秀でた額は、本種の勝ち
気な性質を伝えている、
とみるのはやや擬人的に
過ぎるだろうか。暗い海
底でもよく物が見えるよ
うに眼が大きくなり、そ
して泥をくわえやすいよ
うにアゴが発達したのか
かもしれない。自分が掘つ
た巣穴に他の魚が近づく
と追い払うといった強い

性も見せる。魚類心理学
の研究対象として、飽き
と近所に掘るような社交
ることのない素材だ。

大きな瞳に秀でた額



体長12cmのアカアマダイ放流稚魚||撮影
地は伊根町カルビ浜、水深2m